

流通とS C・私の視点

2015年9月23日

視点(1980)

ライフステージ
世代別の年齢層の過去・現在・未来!!

(生活様式と消費心理編)

ライフステージ(世代)は、年齢の推移とその人に影響を与える人々(例えば家族)を一体化したライフスタイル(生活様式)のタイプである。ここでは2015年を基軸として、ライフステージの過去・現在・未来の年齢層を示します。

ライフ ステージ	生まれた時代		時代の年齢			当時の年齢		
			現在 (2015年)	2025年	2035年	2045年	バブル 1990年 (1986~1991年)	ユビキタス 2005年 (2000~2005年)
焼け跡・復興 世代 (旧シニア)	上	1930年	85歳	95歳	105歳	115歳	60歳	75歳
	中心	1935年	80歳	90歳	100歳	110歳	55歳	70歳
	下	1940年	75歳	85歳	95歳	105歳	50歳	65歳
団塊シニア 世代 (現シニア)	上	1946年	69歳	79歳	89歳	99歳	44歳	59歳
	中心	1949年	66歳	76歳	86歳	96歳	41歳	56歳
	下	1951年	64歳	74歳	84歳	94歳	39歳	54歳
団塊“間”世代 (ハナコ世代) (近シニア)	上	1959年	56歳	66歳	76歳	86歳	31歳	46歳
	中心	1962年	53歳	63歳	73歳	83歳	28歳	43歳
	下	1964年	51歳	61歳	71歳	81歳	26歳	41歳
団塊ジュニア 世代	上	1971年	44歳	54歳	64歳	74歳	19歳	34歳
	中心	1974年	41歳	51歳	61歳	71歳	16歳	31歳
	下	1976年	39歳	49歳	59歳	69歳	14歳	29歳
ミレニアル 世代 (ミレニアルズ)	上	1981年	34歳	44歳	54歳	64歳	9歳	24歳
	中心	1991年	24歳	34歳	44歳	54歳	-1歳	14歳
	下	2000年	15歳	25歳	35歳	45歳	-10歳	5歳
フューチャー 世代(仮)	上	2001年	14歳	24歳	34歳	44歳	-11歳	4歳
	中心	2005年	10歳	20歳	30歳	40歳	-15歳	0歳
	下	2010年	5歳	15歳	25歳	35歳	-20歳	-5歳

人々のライフステージは異なるライフスタイルを創出しますが、そのライフスタイルの異質性の根源が、政治・経済・社会の出来事です。戦後日本の政治・経済・社会現象は次の通りです。

- ①終戦及び混乱期 (基軸年度 1945年・1944~1950年)
- ②高度成長期 (基軸年度 1970年・1955~1990年)
- ③交通ネットワーク期(新幹線・高速道路・空港) (基軸年度 1974年・1964~1985年)
- ④バブル経済期 (基軸年度 1988年・1986~1991年)
- ⑤ITC革命期 (基軸年度 1990年・1985~2000年)
- ⑥デフレ経済期 (基軸年度 2000年・1991~2013年)
- ⑦ユビキタス革命期 (基軸年度 2005年・2001~2020年)
- ⑧リーマンショック期 (基軸年度 2008年・2007~2010年)
- ⑨金融経済期 (基軸年度 2015年・2013~2025年)
- ⑩コンテキスト・IOT革命期 (基軸年度 2020年・2010~2030年)
- ⑪インダストリー4.0革命 (基軸年度 2030年・2020~2040年)
- ⑫AI革命期 (基軸年度 2045年・2030~2050年)

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六 車 秀 之